



11/9(日)

**大会1日目および懇親会は好評により満席となりました！
大会2日目プログラム詳細版です！**

第13回九州在宅医療推進フォーラム in鹿児島

会場：鹿児島県医師会館 大ホール

9:00 在支協会長講演

『治す医療から治し・支える医療へ』

新田國夫 先生（全国在宅療養支援医協会会長）

『在支協と在宅医療推進フォーラムの歩みについて』

中野一司（第13回九州在宅医療推進
フォーラム大会長）

座長：久松憲明

10:10 シンポジウムII

『九州各県の取り組みについて』

<福岡>

『多職種が連携して地域と支援者をワンチーム
で支える』 宮原文子 氏

（八女筑後医師会・在宅医療介護連携室）

<佐賀>

『佐賀市の医療機関の在宅医療への取り組み』

矢ヶ部伸也 先生（矢ヶ部医院）

<長崎>

『長崎Dr.ネットについて』

阿保貴章 先生（医療法人 阿保外科医院）

<熊本>

『熊本在宅ドクターネットの取り組み』

田島和周 先生（田島医院）

<大分>

『大分市における在宅医療・介護連携推進の
試み』 太田加奈子 氏

（大分市連合医師会 在宅医療部）

<宮崎>

『宮崎キュアケアネットワークの取り組み』

國枝良行 先生

（医療法人サクラ会 あけぼの診療所）

<鹿児島>

『在支協鹿児島県支部会の立ち上げと第1回
鹿児島県在宅医療推進フォーラムの開催』

久松憲明 先生（平和会クリニック）

<沖縄>

『地域の在宅クリニックから急性期病院へ
いかにアプローチするか？急性期在宅への
参画と自治体を巻き込んだ定例ケースカン
ファレンスの取り組み』

田木聡一 先生（医療法人アガペ会

北中城若松病院 ファミリークリニック

きたなかぐすく）

12:40 閉会式

第2回日本在宅医療連合学会 九州ブロック会

会場：鹿児島県医師会館 中ホール

9:00 シンポジウム

『在宅医療を支える病診連携と人材育成
～急性病棟とも慢性病棟とも有床診療所
でも～』

吉田伸先生（頤田病院院長補佐）

林恒存先生（オハナクリニック院長）

濱田努先生（きいれ浜田クリニック院長）

（シンポジストより）

在宅医療を実践していくにあたり、患者の急変や介護疲労、特殊な診断・治療のために、入院ケアにうまくつなぎ、うまくお帰り頂くことは、大変重要になっています。そんな『在宅医療の病診連携』ですが、鹿児島市内で急性期病院に併設した在支診で連携を実践されている林先生と、福岡の地方都市で在支病（コミュニティホスピタル）で自院の病棟と在宅をつないでいるわたくし吉田と、鹿児島の喜入町で有床型在支診として自院の病床を活用している濱田先生より、取り組みの紹介をいたします。また、結局のところお互い様な連携をつくるには人が命！ということで、この連携を円滑にするための人材育成や啓発のやり方も合わせてご紹介し、たくさんの会場のみなさまからご質問をいただきたく存じます。ぜひご参加ください。

12:40 閉会式

申し込み方法



QRコードを読み取り、必要事項をご入力の上、送信してください。

締切：10/30（木）

